

△区域メッセージ (第 4 週) 神のかたちと 25 の答え (使 1:8)	△聖日 1 部礼拝 今日がはじまり、終わり、永遠 (使 8:26-40)	△聖日 2 部礼拝 神様の歴史的な時刻表の中にいる者 (使 9:1-15)
<p>□序論_7 大旅程 一番重要なのが祈りの答え。7 大旅程は聖書の全体の伝道現場から見つけ出したことなので、参考にする必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>すると、みことばを正確に深く見たという証拠として、正確な答えが来る。</li> <li>空前絶後の答えが来る。</li> <li>このとき、神様の計画が見える</li> <li>いよいよ私、私のこと、私の現場が見える。</li> <li>62 の生活 (私の一生の生活が見える)</li> </ol> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>私を回復するということはなにか (福音で回復すべき) <ol style="list-style-type: none"> <li>創 1:27 神のかたちを見つけて出すこと</li> <li>創 3:4-5 サタンが奪っていった、1:2 そして、本来のとおり暗やみ、虚しさ、混沌、このように行ってしまったこと</li> <li>創 3:15 それゆえ回復できる道を神様がすみやかに与えてくださった</li> </ol> </li> <li>私を生かす集中ということ (1 大旅程に行くこと) <ol style="list-style-type: none"> <li>創 1:3 の光を再び回復すること</li> <li>創 1:26 三位一体の神様がともにおられる記録</li> <li>創 1:27、2:7 この恵みが私中に臨むこと 御座 そして、自然に御座の力が臨むこと</li> </ol> </li> <li>創 1:28 霊的作品 「征服して治めなさい」これが本当の答え <ol style="list-style-type: none"> <li>3 団体で作り出した瞑想運動 (3・6・11 を再び回復すること)</li> <li>それゆえ、私たちは黙想運動で回復させるべき</li> <li>3・9・3 三位一体の神様、御座の祝福 9 つ、3 時代</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論_祈り-いやし、力 すべてを祈りに変えることができれば、刻印、根、体質が変わる。そのときから、いやされて力が生まれる</p>	<p>□序論_見張り人として絵を描くやぐらの法則を持っているべき 「あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る」これがマルコの屋上の中で起こった最も大きな答え。見張り人として絵を描くやぐらの法則を作りなさい。それが正確ならば、正確な答えがくる。その中に必ずプラットフォーム、見張り台、アンテナができる。絶対に落胆してはならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>やぐらの法則の流れ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) アブラハム-祭壇を築き始め (創 13:18)</li> <li>2) ヨケベデ-モーセを王宮に送ることを決意した後にした事</li> <li>3) ハンナ-ナジル人を与えてください</li> <li>4) ダビデ-私は、いつまでも、主の家に住まいます。 (詩 23:6)</li> <li>5) エリシャ-霊の二つの分け前が私のものになりますように。このエリシャがダトンの町運動</li> <li>6) ダニエル-心を定めて、いつものように、やぐらを築きはじめ (ダニ 1:8、6:10)</li> <li>7) ピリポ-「あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る」見たこと</li> </ol> </li> <li>ピリポが持ったこと <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 聖霊の満たし-御座の力</li> <li>2) 知恵の満たし-宇宙の力</li> <li>3) 信仰の満たし-世界福音化の力</li> </ol> </li> <li>やぐらを築けば開かれる一つの目-はじまり、終わり、永遠なこと <ol style="list-style-type: none"> <li>1) はじまり-福音を聞いたことがないエチオピアの宦官</li> <li>2) 終わり-福音を聞く最後の機会</li> <li>3) 永遠に残る福音</li> </ol> </li> </ol> <p>□本論_この法則を分かれば、必ず成り立つ三つのこと (受ける答え)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>迫害と死ははじまり-ステパノの死は終わりではなくはじまり <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ダマスコでパウロを倒されたキリスト (使 9 章)</li> <li>2) アンテオケ教会、パウロとバルナバの出会い</li> <li>3) 迫害のとき、集まって祈り-ヘロデ王に勝つ (使 12 章)</li> </ol> </li> <li>千年の答え <ol style="list-style-type: none"> <li>1) サマリヤに福音を伝えに行ったこと-王、祭司、預言者もできないこと</li> <li>2) キリストの御名によって悪霊につかれた者をいやし</li> <li>3) 不治の病の者をいやし</li> </ol> </li> <li>永遠の答えにつながる <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 主の使いがピリポに (26 節)</li> <li>2) 主の御霊がピリポに (29 節)</li> <li>3) 主の霊がピリポに (39 節)</li> </ol> </li> </ol> <p>△やぐらの法則を分かれば、世の中の人に分からない霊的な働きが明らかに起こる。この状態に入らなければならない。エチオピアの宦官にピリポが送られ、キリストを宣べ伝えてバプテスマを受けた。最初、最後、永遠の機会。</p> <p>□結論_「私は今日から見張り人になって重要な未来のやぐらを作る」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. レムナント 7 人-世界福音化の絵を持ってずっと祈ったヨセフ、荒野のモーセ</li> <li>2. 家系と産業に霊的な働きが起きること。このやぐらがあればプラットフォームが作られて、主の使い、主の聖霊が臨むようになって、証人になる。</li> <li>3. だまされずに契約を握りなさい。</li> </ol>	<p>□序論_飢え渴いて待つ人が多い。 出会い (タラッパン) -その人が今日、福音を受けるように備えられた者なのか、そうではないのか、話を投げてみれば分かる。反応を見せたり、とても拒否すれば、時刻表になった人だ。必要なタイムに福音を伝えるのだ。それをタラッパンと言う。 難しい (チームの働き) -難しい目にあっている人に会えば少しだけ助けてあげれば良い。それをチームの働きと言う。</p> <p>葛藤 (M. H. 学舎、RUTC) -周辺に隠れた難しさを持っている人、来ている多民族、青年、学生を少しだけ助けるのだ。</p> <p>70 人、70 地域-聖書の重職者が味わった祝福を与えられたので、この程度になるように私の水準を上げなければならない。</p> <p>副教役者-70 人現場を見て地域を生かす絶好の機会を持っている人々だ。 △どんな働きをしても、70 影響を与えられるように神様が備えておかれた。イサクには福音化するように 100 倍祝福された。ダマスコを迫害者パウロが通り過ぎるとき、その町にアナニヤがいることをご存じて、ぴったり合わせられたのだ。</p> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 危機-神様の計画を成し遂げる時刻表にアナニヤを呼ばれた。 <b>使 9:10</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 脅かし、殺害の意に燃えていたサウロ</li> <li>2) 公文書-権限を要請</li> <li>3) I テモ 1:13 すべての信徒に害を与えたサウロ</li> </ol> </li> <li>2. <b>使 9:15</b> 弟子を見つめる時刻表にいたアナニヤ <ol style="list-style-type: none"> <li>1) パウロ-ローマの名前、サウロ-ヘブルの名前</li> <li>2) キリキヤ・タルソ出身</li> <li>3) アテネ-哲学勉強</li> <li>4) ガマリエル門下生</li> <li>5) ローマ市民権者</li> <li>6) パリサイ人</li> <li>7) ベニヤミン族</li> </ol> </li> </ol> <p>△全世界を生かす選別の器として呼ばれたパウロを、アナニヤに送られたのだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 未来を生かす時刻表 <b>使 11:25-26</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 使 11:19、11:25-26 アンテオケ教会を迫害しに行って、アンテオケ教会の弟子になったパウロ</li> <li>2) 使 13、16、19 最も重要な宣教現場に派遣</li> <li>3) 使 17、18、19 会堂に入って次世代を変える事に参加</li> <li>4) 使 19:21、23:11、27:24 ローマ</li> <li>5) 使 28:30-31 ローマで 2 年間、誰もみことばを妨げることができなかった。</li> </ol> </li> </ol> <p>△これを持って、これから金土日時代を開かなければならない。</p> <p>□結論_教会の中に私のやぐらを建てなさい</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三つの庭</li> <li>2. <b>237</b>、<b>いやし</b>、<b>サミット</b>- 237 に関する私のやぐらを建てていやし、サミット</li> <li>3. 弟子、次世代-弟子を立てて、次世代につなぎなさい (足跡) -あちこちに書簡を送って足跡を残したパウロ</li> </ol> <p>△すべての重職者は一つの国をいやして、レムナント育てるほど、ひとつの国とながちなさい。そこに弟子がついてきて、他の人が来て、見るようにさせなさい。そこに足跡を残しなさい。</p>